

REAR CAMERA HARNESS RCH071U取付説明書

本製品は、車両のハーネスを活用して、弊社製リアカメラ【RVC299Ⅱ】【RVC800】【AER495-W1(付属カメラ)】の取り付けを簡単にする製品です。

注意

本製品は弊社製リアカメラ【RVC299Ⅱ】【RVC800】【AER495-W1(ロードスター用リアウイング付属カメラ)】専用です。他のカメラは使用できません。
※リアカメラは別途ご購入ください。

内容物

リアカメラハーネス本体	1セット
ギボシ端子・スリーブ(オス)	1セット
ギボシ端子・スリーブ(メス)	1セット
RCAピン変換コネクタ	1個

注意事項(必ずお読みください)

注意事項の定義

ご使用になる前に、この「注意事項」をよくお読みの上、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

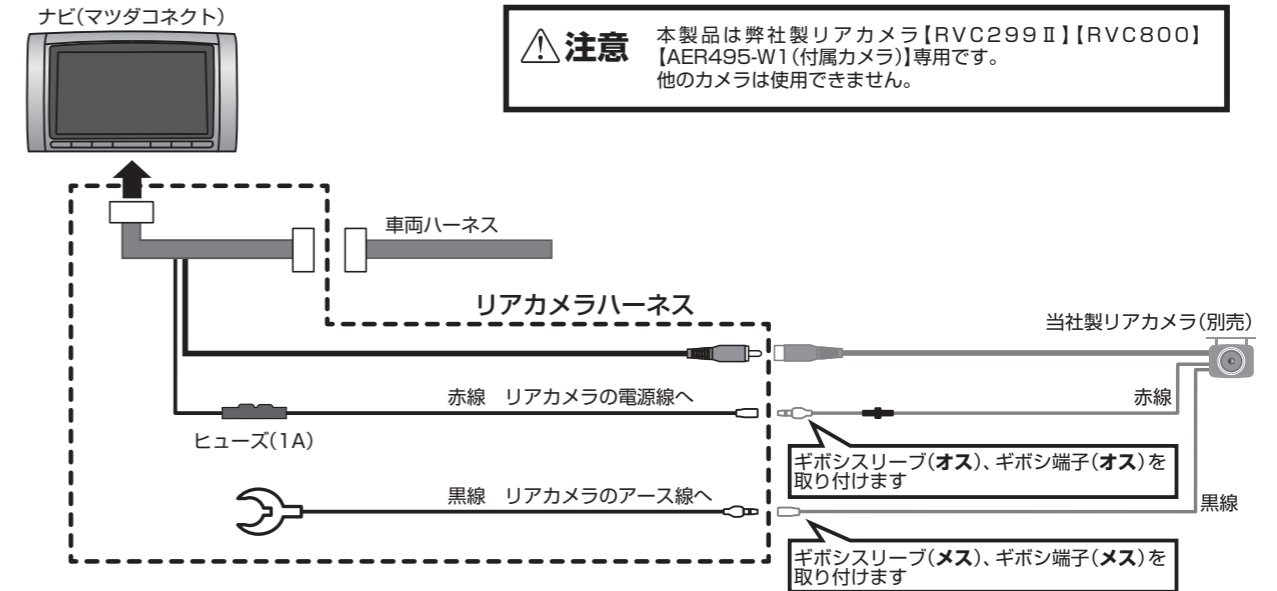
危険	守らないと、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が高いもの
警告	守らないと、法律に違反するおそれがあるもの
注意	守らないと、車両及び製品を破損、または故障させるおそれがあるもの
重要	本製品を使用する上で知っておいていただきたいもの

注意

- 本製品は、弊社製リアカメラ【RVC299Ⅱ】【RVC800】【AER495-W1(付属カメラ)】専用です。他のカメラは使用できません。リアカメラは別途ご購入ください。
- カメラ本体は、必要に応じて加工して装着してください。
- 取り付け前に、必ずエンジンを停止させバッテリーマイナス端子を外してください。ただし、その場合はラジオや時計等のメモリー内容が消えてしまいます。消えてしまうと困るメモリーの内容は、バッテリーマイナス端子を外す前に必ずメモしておき、取り付け完了後、再度入力してください。
- テレビモニターおよびチューナーなどを点検、修理に出される際には必ず本製品を取り外してください。本製品を含み、アフターパーツ類を取り付けている場合、ディーラーによってはメーカー保証が受けられない場合があります。
- 本製品を使用、操作したことによって発生した、人身・物損事故の責任・補償は一切負いません。
- ユニット内のカセット、音楽ディスク、地図ディスクなど、すべてイジェクトしてから、脱着作業をおこなってください。
- コネクタを外すときは、コネクタの抜け防止爪をしっかり押し込み、まっすぐ引き抜いてください。コネクタを無理に引っ張ると、車両側の基板が破損する恐れがあります。
- 絶対に配線部分を引っ張らないでください。断線、接触不良を引き起こす恐れがあります。
- コネクタを接続するときは、カチッと音がするまで奥まで確実に差し込んでください。
- 端子を接続するときは、奥まで確実に差し込んでください。
- 本製品は、必要に応じて配線部を結束バンドで固定してください。固定しないとコネクタの接触不良、配線の断線の恐れがあります。
- 本製品を取り付ける際は、ハーネス、配線がパネルやシートレール、ペダルなどに噛み込まれたり挟まれる可能性のある場所には絶対に設置しないでください。製品の破損やハーネス断線等の恐れがあります。
- 本製品の取り付けには専門知識が必要です。販売店または整備工場などに作業を依頼してください。
- 適合外の車両へ取り付け発生したクレーム、事故、故障などに関する責任は弊社では一切負いません、あらかじめご了承ください。

接続概要図

接続概要図



取付方法(概要)

リアカメラの取り付けは、各カメラ取扱説明書を参照し、必要に応じて加工して装着してください。
※リアカメラの電源とアースは本製品から取得できます。
※リアカメラは「鏡像」でご使用ください。

1. バッテリーマイナス端子を外します。
2. 「車種別分解手順」を参考に、本製品を取り付けます。
3. 本製品のRCAピン端子を、リアカメラのRCAピン端子に接続します。
4. 本製品の赤線を、リアカメラの電源線に接続します。
5. 本製品の黒線を、リアカメラのアース線に接続します。
6. 本製品の黒線のクワガタ端子をボディアースに接続します。
7. バッテリーマイナス端子を接続します。
8. イグニッションスイッチをONにします(エンジンは始動させません)。
9. シフトレバーを「R(リバース)」にします。
10. モニターにカメラ映像が映ることを確認します。
11. 「モニターに「周囲の安全を確認してください」の文字が出たら、配線接続作業は完了です。

重要 カメラの映像が正しく出力されないと、リアカメラが認識されずモニターに映像が映りません。

ご相談窓口

サービス(技術的なお問い合わせ・修理受付)
お電話 086-486-0442
【受付時間】月曜日～金曜日 10:00～12:00 / 13:00～17:30
(年末年始/祝日など、弊社休業日を除く)

メールでのお問い合わせ(PC)

<https://www.datasystem.co.jp/support/mail/>

メールでのお問い合わせ
(スマートフォン)

<https://www.datasystem.co.jp/sp/support/>



Data System 株式会社 データシステム
<https://www.datasystem.co.jp/>

■[本社] 東京都新宿区新宿1-18-2 ■[倉敷支社] 岡山県倉敷市神田1-1-11
弊社に無断で本書の内容・図・写真の全部、または一部の複製(コピー)・転用・転載を禁じます。

ロードスター

マツダコネクト装着車

ND5RC

H27.5~

1. バッテリー マイナス端子取り外し

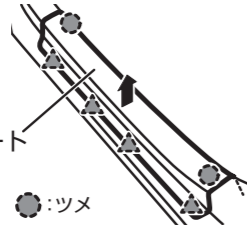


重要

必ずバッテリーのマイナス端子を外してください。
バッテリーのマイナス端子を外さずに本製品を取り付けると、リアカメラの映像がモニターに映りません。

2. 助手席側スカッププレート取り外し

クリップ・ツメを浮かせ、スカッププレートを取り外します。

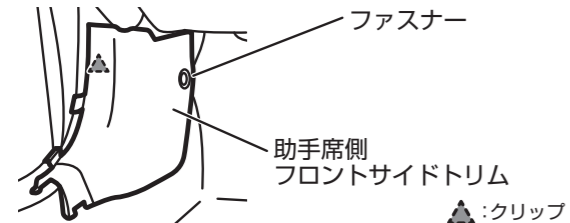


助手席側スカッププレート

▲:クリップ ●:ツメ

3. 助手席側フロントサイドトリム取り外し

ファスナーを取り外したあと、助手席側フロントサイドトリムを取り外します。

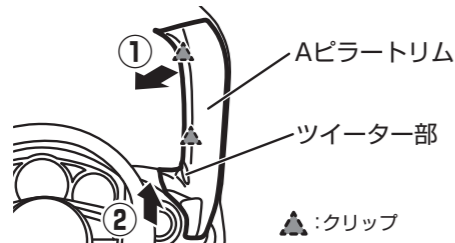


助手席側
フロントサイドトリム

▲:クリップ

4. Aピラートリム(左/右)取り外し

クリップを浮かせたあと、上に引き上げて、左右のAピラートリムを取り外します。



▲:クリップ

※図は右側(左側も同様に作業します)

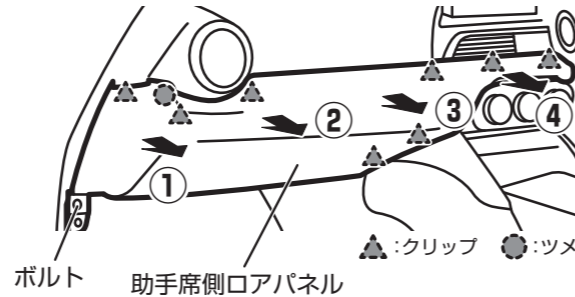


重要

ツイーターのコネクターは外しにくい構造です。ツイーターをトリムから外さないで作業する場合は、トリムや周辺のパネルに傷がつかないように保護してください。

5. 助手席側ロアパネル取り外し

ボルトを取り外してから、番号順に手前に引いてクリップを浮かせ、助手席側ロアパネルを取り外します。

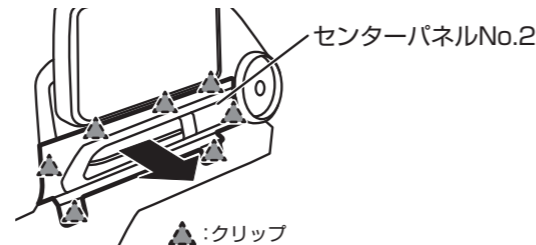


ボルト 助手席側ロアパネル

▲:クリップ ●:ツメ

6. センターパネルNo.2取り外し

クリップを浮かせ、センターパネルNo.2を取り外します。



▲:クリップ

7. ステアリング チルト位置調整

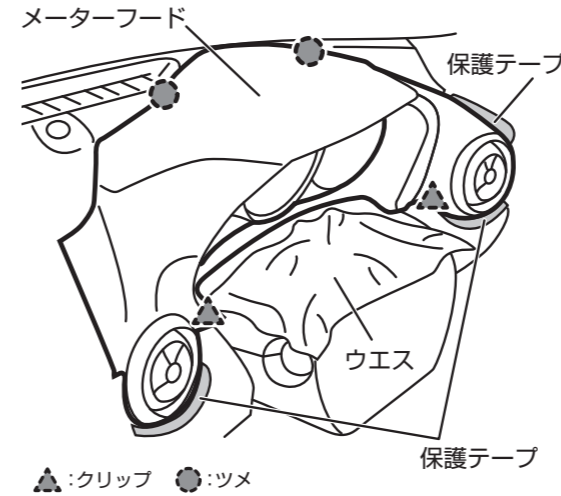
ステアリング位置調整レバーを下げて、ステアリングを一番下に下げます。

ステアリング位置調整レバー



8. メーターフード取り外し

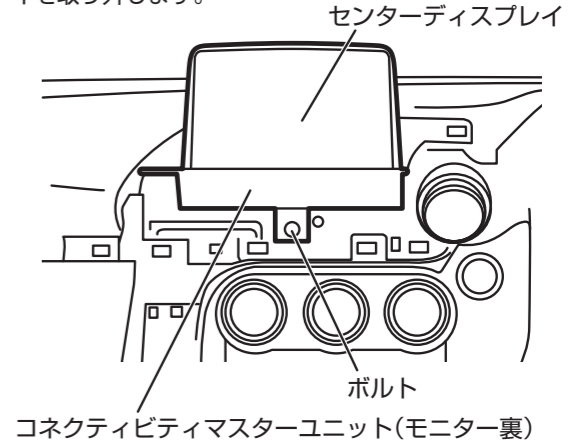
傷付き防止のために、コラムカバーにウエスをかぶせます。保護テープを貼ってからクリップを浮かせ、メーターパネルを取り外します。



▲:クリップ ●:ツメ

9. センターディスプレイ取り外し

ボルトを外して、センターディスプレイを手前に引き出します。コネクターを外してから、センターディスプレイを取り外します。



コネクティビティマスターユニット(モニター裏)

10. コネクター取り付け

コネクティビティマスターユニットの28ピンコネクターにリアカメラハーネスを割り込ませます。

コネクティビティマスターユニット

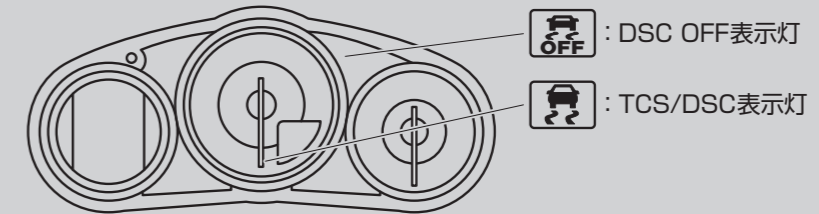


28ピンコネクター



注意 バッテリーのマイナス端子を取り外した場合は、以下の点にご注意ください。

- エンジン始動後、「DSC OFF表示灯」が点滅し、「TCS/DSC表示灯」が点灯したままになった。
⇒DSCが作動していません。DSCの初期設定をおこなってください。



OFF : DSC OFF表示灯

: TCS/DSC表示灯

[DSCの初期設定方法]

- 1.電源ポジションを「ON」にします。
- 2.ハンドルを右いっぱいに回します。
- 3.ハンドルを左いっぱいに回します。
- 4.「DSC OFF表示灯」が消灯したことを確認します。
- 5.電源ポジションを「OFF」にします。
- 6.電源ポジションを再度「ON」にします。
- 7.「TCS/DSC表示灯」が消灯していることを確認します。